

キャラクター名
江夏 吉

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション	オルクス		年齢	17	性別	男
覚醒	探求	衝動	妄想	初期侵食率	28	%
出自	権力者の血統	経験	出世	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	7
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	4	0	0			4	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	2	1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
D:記憶探索者	P	N		
父親	P 憧憬	N 不快感		
霧谷雄吾	P 信頼	N 無関心		
ファナティコス	P	N		
アスカ	P 憧憬	N 恐怖		
きゅう	P 庇護	N 不安		
渡辺	P 有為	N 脅威		

最大財産P: 10 残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
タブレット	2	2	オート	至近	自身	オート	-	
効果:	ソラリスエフェクトの射程を視界化							
多重生成	2	3	オート	至近	自身	オート	リミット	
効果:	《タブレット》と組み合わせ対象を[Lv+1]体に							
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定の出自1つを10に変更							
戦乙女の導き	4	2	メジャー	至近	単体	<RC>	-	
効果:	次メジャーの判定ダイス+Lv 攻撃力+5							
狂戦士	2	5	メジャー	視界	単体	<RC>	80↑	
効果:	判定ダイス+[Lv×2] C値-1							
夢の雫	4	3	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果:	判定直後に使用し達成値+[Lv×2]							
水晶の剣	2	4	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果:	武器の攻撃力+[Lv×2]							
天の業物	1	4	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果:	《水晶の剣》使用武器での攻撃にC値-1							
砂の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバーリングを行う							
万能器具	★							
効果:								
変貌の果て	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

17歳という異例の若さでUGN支部1つを任せられるオーヴァードの青年
 それもそのはず彼の父親はUGN本部管理部部長の地位を手にしており、その息子という理由だけで評価され支部長の座に着いた、いわゆるコネによる出世である
 本人は決してこのことを快く思っておらず、また非常に多忙な支部長という立場にも嫌気が差しており「やめちまおうぜこんな仕事」が口癖
 だが与えられた仕事を放り投げたことや杜撰に済ませたことは一応一度もないらしい

彼の力は不可視の霊力によって他のオーヴァードを強化することが主
 だがその真骨頂はオーヴァードが戦いの中で失っていく記憶を呼び覚ますことであり、この能力によって部下のジャーム化や精神的ダメージを多く抑えてきた
 ただし、性格上力をアテにされることが嫌いなので有事の時を除き可能な限り能力は隠している

変装、という名目でどこにいく時も常に番傘を差し狐の面を被り、どこを歩く時も下駄を履いている
 腰に生えている大きな赤い尻尾はオーヴァードとして覚醒した時に出てきてしまったものらしいが神経は全く通っておらず、平気で布巾や座布団に使っている
 どことなく不自然な格好が目立つのだが、これらの物品はまだ父親を信頼していた小学生時代に祭りで買ってもらったもの
 自分の中の“正の記憶”を持つものに常に触れていないと記憶探索者としての能力を発揮しづららしい